

経済産業委員会

令和5年3月14日（火）

午後3時59分～午後4時44分

議会第3会議室

【出席委員】 実松尊信委員長、江原新子副委員長、中島妙子委員、江口善己委員、
稲葉嵩広委員、御厨洋行委員、松永幹哉委員、千綿正明委員、
中野茂康委員

【欠席委員】 なし

【委員外議員】 なし

【執行部出席者】

・ 交 通 局 志満交通局長
ほか、関係職員

【案 件】

・ 付託議案について

○実松委員長

皆さんお疲れさまでございます。ただいまから経済産業委員会を開催します。

最初に、4常任委員会による連合審査会の開催についてお諮りします。

第1号議案、令和5年度佐賀市一般会計予算中、第1条第1表歳入全款及び第4条第4表の審査につきましては、当委員会への付託議案と関連がありますので、佐賀市議会会議規則第103条の規定に基づき、連合審査会を開催して、審査したいと思います。御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

御異議なしとのことですので、第1号議案、令和5年度佐賀市一般会計予算中、歳入全款及び第4条第4表の審査については、連合審査会を開催することに決定しました。

次に、審査日程ですが、御手元のタブレット端末の経済産業委員会フォルダ内に掲載の審査日程案のとおり進めたいと思います。

また、付託議案の審査のため、現地視察を希望される場合は、マイクロバスの都合がありますので、早めにお申出ください。現地視察は、議案に関連し、賛否の判断に関わるような場合などに実施することに留意いただきますようお願いいたします。

それから、連合審査会時の席次につきましては、タブレット端末に掲載しております席次表のとおりですので、よろしく願いいたします。

ここで一旦、経済産業委員会は休憩します。連合審査会終了後、経済産業委員会を再開して、引き続き議案審査を行いますので、よろしく願いいたします。

それでは、この後、連合審査会が開催されますので、大会議室への移動をお願いいたし

ます。

◎午後2時40分～午後3時59分 休憩

○実松委員長

お疲れさまでございます。それでは、経済産業委員会を再開します。

審査に入ります前に、注意いただきたい点を幾つか申し上げます。

執行部におかれましては、限られた時間で集中的な審議が必要ですので、簡潔な説明を心がけてください。当初予算は非常にボリュームが大きいので、新規事業や主要事業のほか、経常的な経費については、主なもの、前年度と比較して大きく変わったものを中心に説明をお願いします。また、答弁は役職にかかわらず、質問に回答できる方がされるようお願いいたします。

それから、委員の皆様におかれましては、多岐にわたる質疑をお持ちかと思いますが、一度にたくさんの質疑をされますと、答弁が分かりにくくなりますので、1回につき2問ぐらいに絞って質疑していただければと思います。

それでは、交通局に関する議案の審査に入ります。

第5号議案について執行部に説明を求めます。

◎第5号議案 令和5年度佐賀市自動車運送事業会計予算 説明

○実松委員長

ただいまの説明について、委員の皆様から御質疑をお受けします。御質疑がある方は挙手をお願いします。

○千綿委員

補足資料説明のさっきのSAGAアリーナのところで、20便ほど増便するというところなんですが、佐賀駅バスセンターとSAGAサンライズパークの間だけを増便するという理解でいいんですか。

○小林副局長

おっしゃるとおり、佐賀駅バスセンターからアリーナ間、バス停としてはSAGAサンライズパークになりますけど、その間を行き来する便を20便程度増便する予定になっております。

○千綿委員

基本的に交通政策で多分市のほう、もしくは県のほうからの依頼があったと思うんですけど、それに対する補助とかあるんですか。

○小林副局長

補助はありませんが、先ほど申し上げましたように、土日祝日、SAGAアリーナのほうは、オープンしてから2年間ほどは90%近くイベントが予定されているということを知っておりますので、利用者が見込めるというふうに思っております。

○千綿委員

いや、それはいいんですよ。どんどんもうけてもらわないかんけん。ただ、言うときに、交通政策の一端として要望が多分出てきたと思うんですね。そのときは、やっぱり言わんといかんですよ。何でもかんでも押しつけられよるじゃないですか、交通局。いや、言っ
ていいと思うんですよ。言っ
て駄目ならしょうがないでしょう。でも県も含めて、少しぐ
らい、県に恩着せがましく言うて、少し金をもらうとかいう部分は必要ですよ、絶対。交
通政策の一環として頼まれたわけですから、でも、実際何人乗るか分からないわけでしょ
う。確実性がないから、少し補填してくださいというのは、やっぱり言わんばいかんと思
うのが1点と、もう一つ、その下、デジタルチケット、これは佐賀市のスーパーアプリが3
月いっぱいまで多分できると思うんですが、その中に入れることは無理ですか。

○小林副局長

1点目の県や交通施策に対しての働きかけということですが、今後やっていきたいなと思
っております。

○志満局長

千綿委員おっしゃるとおり、うちも今限られた乗務員の中で、通常の便プラスというの
は、あくまでも、どれだけ乗られるか分からない状態を出すというのは、かなり苦しい選
択でありました。しかし、今回、SAGAアリーナという、かなり大きなキャパを持つ施
設ができ、県も力を入れて、佐賀市もこの大きな施設に――佐賀市内でいろんな潤いにつ
ながるので、ぜひ働きかけをしながら、一緒に協働しながら盛り上げていこうよという動
きの中で、通常の路線バスの増便、ピストンじゃなくて委託料か何かで、1台何ぼで何十
台か、うち稼働しますから、その分のお金をくださいよと、そしたら一定のお金が入るの
でという話も実はしています。していますけれども、最終的にそういう増便対応について
の委託でのバスの確保というのは、SAGAアリーナも、うちのほうもそこは考えていな
かった。本当は、考えてくれよとかなり強く言ったんですけども、ただ、土日祝につい
てはかなり、イベントもここ二、三年ぐらいいめじろ押しなので、一定の利用客はつくだろ
うということと、バスセンターで積み残しがあって、次のバスまで20分以上待たされると
いう状態をうちとしても避けたいというところがあって、ちょうど間に、上手にかませな
がら、20分以上の待ち時間ができないように、今回うちとしては20便を提供して、全体の
底上げというか、当然、質問でもあったとおり、雨天時とかそういうときはかなり積み残
しが出てくる可能性がありますので、それはうちのほうで補填しましょうということで今
回のこの内容になりました。御理解ください。

○小林副局長

2点目のスーパーアプリとの連携ですけど、今、委員おっしゃったように、スーパーア
プリでも御紹介というか、購入できるような形で進めたいということで、DX推進室と連
携を取って進めているところでございます。

○千綿委員

さっきのスーパーアプリの件は、どうせつくるなら、そこに一緒に入れないと、要するに一緒だからですね、ぜひ入れるような話で進めていただきたい。

先ほどの交通政策の対応に関しては、志満局長、とにかくがんがん言っとかんと、結局押しつけられるわけですよ。例えば、ゆめタウン線でもそうじゃないですか。ゆめタウン線は多分多いと思うんですけど、もし逆に、最初多くて、逆にそれでも乗らんという話になったら、目も当てられないから、企業局としてはリスクを最小にしてやっとかんといかんから、そこは交渉していかないと、つい、交通局にお願いしようとしかならんじゃないですか。そこは交通局の意地を見せて、少しは抵抗しながら、お金をもらう方法をさんざん考えないといかんですよ。

○志満局長

重々承知しております。うちのほうとしても言うべきことは言いながら、うちも限られた中で出しているという、恩着せるといってもないんですけども、そういう状況で厳しい中で応援しているんですよというのは常に言って、これもある意味、最初は恒常的にやろうかなと思ったんですが、ある意味期間限定しながら、あまりにもお客がつかなかったら、どこか引き際も考えなくちゃいけないと思っています。いずれにしても、うち乗務員とバスが限られていますので、そこは強く継続して言います。

○松永幹哉委員

関連ですけれども、まず、2番目のデジタルチケットの発売は、事前に発売を開始するということですか。

○小林副局長

一応資料のほうでは5月13日としておりますが、やはり5月13日に来られる方もいらっしゃるかと思いますので、前日ぐらいには購入できるような形が必要かなということで、今ちょっと関係機関とは話をしているところでございます。

○松永幹哉委員

これは1も2も一緒なんですけれども、前もってPR等はどうするんですか。

○小林副局長

まず、今回、市長の2月定例会の記者会見でアナウンスをしていただきました。今回、議会で補足説明資料ということで説明させていただきましたので、今後、事前にマスコミの投げ込みだったり、あとSAGAアリーナとサンライズパークのホームページ等でも、こういったデジタルチケットの周知を今、県のほうに依頼しているところでございます。

○松永幹哉委員

先日からずっと無料の乗車券で随分とバスにみんなが目が向いていますよね。だから、こういうことをするときこそ、PRが一番大事なんですよ。直通便のアリーナ便があるよというPRは物すごく大事なことだし、それによってほかの便も影響を受けてくるんですよ。それと、デジタルチケットも、前日じゃなくてもっと前にしないと、間違いな

くこれは短い期間でしたらトラブりますよ。だから、前もってやって、かつ、その中でPRを徹底する、少しお金かけていいんですよ、こういうことは。間違いなく取れますよ。だから、ほかにも相乗効果が上がるようなPRの仕方、それから、チケットも前もってやるというような、そういうPRの仕方をぜひやってほしい。どうですか。

○小林副局長

今、委員がおっしゃったことを参考というか、留意して、今後取組を進めていきたいと思えます。

○御厨委員

まず確認ですけど、駅とSAGAアリーナの直通かということを確認させてください。その場合、バスの標識にアリーナ行きと、どんと大きく載せるような予定なのか、まずそこを確認させてください。

○小林副局長

まず、直通かということですけど、バスセンターと1か所、佐賀駅北口バス停というのがあります。そこで1回止まりまして、SAGAサンライズパークのほうに向かいます。戻りも同じで、SAGAサンライズパークを出まして、佐賀駅北口バス停で止まりまして、佐賀駅バスセンターのほうに戻るといった形になります。行き先表示はSAGAサンライズパークということになります。

○御厨委員

分かりました。

そして、増便する分は、既存の時刻表にプラスしていくということでもいいんでしょうか。それとも時刻表自体をちょっと触るようなイメージでしょうか、その確認をさせてください。

○総務課職員

バスセンターのほうは今デジタルサイネージを導入しております。デジタルサイネージで、土日祝日は新たな表示をすると。それとは別に既存の時刻表にもサンライズパーク行きということで表示をする予定でございます。

○御厨委員

そこは分かりやすくやってほしいなと思いました。というのが、サンライズパークに行けるとして乗ったら、今までの路線で、各バス停に止まって、あらって、時間がかかったとか、そこがちょっと間違える可能性があるのかなというのがありますので、運用をよろしくをお願いします。

○稲葉委員

マイルートとスーパーアプリの連携のことで先ほどお話があったと思うんですけど、具体的にどういった連携方法をお考えでしょうか。

○小林副局長

まだ詳細は決まっていますが、できるだけ簡単に購入画面に行きつけるような形で、スーパーアプリのほうに掲載ができればというふうに考えております。

○稲葉委員

先ほど松永幹哉委員のほうからもお話があったんですが、こういったことをするには、より早い段階で皆様に周知していただくというのが大事かと思うんです。そういった際にスーパーアプリのAPIの仕様書等が恐らくこのタイミングかなんかで出ていると思うんですけど、今から間に合いますかね。

○小林副局長

もう1か月以上前からDX推進室とは話をしてまして、ちょっと間に合うかどうかというところの確認はしていないんですけど、進めているところで、できるだけ間に合わせるようにしたいなとは思っております。

○稲葉委員

マイルートのアプリを入れるという、まず1つ目のハードルがあるわけなので、ですのでスーパーアプリを入れていけば、マイルートを入れなくても使えるような、何か、よりユーザビリティが高くなるような取組をDX推進室と一緒に考えて進めていただきたいと思います。

○中島委員

先ほどの流れから、行き先別に乗り場が決まって分かれていますけれども、サンライズパークに行きたいときは、その1つのどこか乗り場に行けば、間違いなく着くと思っ

○小林副局長

今SAGAアリーナやSAGAサンライズパーク方面には、バスセンターの2番乗り場から、先ほど言いました、市営バスの尼寺金立線、あと昭和バスの中極・東山田線及び古湯線の3路線が出ております。今までは3路線のどれかに乗っていただければ、サンライズパークで停車しますので、そこまで乗っていけるという形だったんですけど、それにプラスして土日祝日に直行便といいますか、1か所、佐賀駅北口には止まりますけど、20便程度増便する、臨時便を2番乗り場から発着させる予定になっておりますので、そちらで御利用いただければと。

○志満局長

要はサンライズパークに行くときには2番乗り場から乗れば必ず行きます。

○中島委員

あと、先ほどからアプリの話が出ているんですけども、そのアプリは、例えばバスが何分後に来るとか、バスセンターのデジタルサイネージと今あったんですけど、サンライズパークから戻ってくるときはそのアプリを見て分かるのでしょうか、混雑状況とか何分後に来るとか。

○総務課職員

アプリはマイルートのことをおっしゃっているかと思いますが、それにつきましては、遅延情報などは表示いたしません。そこはチケットをあくまでも購入するというようなものになります。

うちのほうで入れておりますアプリとして、バスロケのアプリがございます。そこで遅延情報は確認することができますが、また違ったアプリをダウンロードしていただくというところは必要となってきます。

○中野委員

利用サービスの開始予定が13日からで、利用可能エリアは、まちなかから佐賀城からSAGAサンライズパークまでのエリアが1日乗り放題ということですが、地方から佐賀駅まで来る場合は実費を払うということですかね。極端に言えば、久保田からこっちに来た場合はどうなりますか。

○小林副局長

おっしゃるとおり、このエリアまでは実費となります。このエリアに入った後、デジタルフリーチケットを買っていただければ、その区間内は1日乗り放題という形になります。

○千綿委員

確認ですが、ちなみに、今、路線バスが走っている分に関して、佐賀のバスセンターからサンライズパークまでの料金は片道幾らなんですか。

○小林副局長

片道180円になっております。

○千綿委員

駅北口から乗ってもですか。

○小林副局長

駅北口からは160円となります。

○千綿委員

そうになったら、例えば、駅北口から乗れば往復320円で行けるわけじゃないですか。ということでしょう。逆にフリー券を買えば割高になりますよね。

○小林副局長

説明でも申しましたように、1つは、車、自家用車で来場された方が、サンライズ周辺の駅の北側の駐車場に止めることができなくて、駅南のまちなかの駐車場に止められて、そこからアリーナに行く場合、路線バスを使っていただいて、割安で行っていただきたい。まちなかから行く場合は、片道340円、往復で680円かかりますので、そこを考えると350円ということで、お得なチケットということでアピールしたいと思っております。

○千綿委員

それを踏まえて、採算上、何人乗ればペイするという計算はあるんですか。というのが、

例えば佐賀バスセンターから乗られる方、もしくは駅北口から乗られる方を含めて、帰ってくることは向こうから帰ってくるんでしょうけど、大体、行くとは多分みんな一緒なんで、行きだけしか逆に乗らんとするんですよ。帰りは帰りで向こうからしか乗らんと、片道になりますよね、単純な考え方として。そうすると、どのくらいの人が乗らないといかんかという試算は多分されていると思うんですけど、そこはいかがですか。

○小林副局長

1便当たり大体3.5人乗っていただければ、収支が整うというふうに考えております。

○千綿委員

最後に、例えばバスセンターからサンライズパークに行くじゃないですか。その時間帯があつて、帰り際に今度文化会館のところから多分乗るのかなという気がするんですけど、ぐるっと回るのはどこを回るのか。例えば、1回戻ってくるわけじゃないですよ、当然ながらどこか回って、佐賀市文化会館の前で止って、そして北口、そしてバスセンターということになると思うんですけど、ちなみに参考までに。

○小林副局長

現在予定しているのは、サンライズパークのバス停で、まずバスセンターからサンライズに行きまして、そこから右折レーンですね、右折車線に入りまして、文化会館のロータリーに入って、そこを回って、サガサンライズパークの上りのバス停に止まって、お客様を乗せて、バスセンターに向かうというふうに予定しております。

○江口委員

バスセンターからサンライズまで、バス停は何か所ございますかね。

○小林副局長

今回、増便で考えている臨時便につきましては、バスセンターを出まして佐賀駅北口バス停に止まって、SAGAサンライズパークということで。

○江口委員

それは分かります。普通のバスは、停留所は何か所ございますか。何を言いたいかといいますと、普通電車の場合、普通で行くのよりも、準急とか特急で行くと、サンライズパークは後に乗ったストレートが早く着きますなんてというのが電車ではございますね。だから、20分とかの間隔ですから、幾ら何でもサンライズパークストレートのほうが後発でしたら早く着くということはありませんね。

○総務課職員

既存の金立線は、堀江通りのほうを経由していきます。サンライズパークまでは、合計6か所になります。以上です。

○江口委員

ですから、後ろで出たサンライズ、大体お客さんが多いのは土日ですよ。逆に普通のバス停で行くのは、土日は少ないと思いますから、先発の各バス停留所のほうが追い抜か

れるということはありませんね。

○小林副局長

出発の時刻に関しては5分、10分空けますので追い越すことはございません。以上です。

○中野委員

この制度は、サンライズパークの近くに駐車場が少ないということで、このような事業があると思いますが、佐賀市内からは無料になりますので、佐賀市内に駐車場がどの辺にどれぐらいありますよとか、1日当たりの料金が幾らとか、1時間当たり幾らか等も、何かそういうPRも必要じゃないかなと思います。

○小林副局長

関係部署にそういった御意見があったことを伝えたいと思います。

○志満局長

今回のとくとく1日乗車券というのは、もちろんサンライズパークのピストン往復というのが大きいんですが、せっかく県外とか市外から来られた方に、佐賀のまちでお金を落としてくださいよというの、このとくとく切符の一つの大きな目的というか、があります。ですから、当然、交通局は交通局としてこのチケットのPRというか、事前にいろんな広報に努めますけれども、これを使って、佐賀のまちで駐車して、せっかくならこれを使ってくれよというのは経済部のほうで、例えばまちなかにいろんなえびす駐車場とかありますので、今現在こういう駐車場がそれぞれ市内のあちこちにあって、本当は満車状態とか、どれぐらいの今シェアがあるかみたいなのを出してもらいたいんですけど、そこまでするかどうかは経済部のほうと調整はしますけれども、まちなか駐車場の案内は経済部のほうでしっかりしてくれると考えています。

○中野委員

そういうことで、この事業が限りなくスムーズにいくためには連携が必要かと思うんですよ。JRの交通機関で来る人は、県外から来る人は別に問題ないんですけど、自家用車で来る人たちのためのPRも必要かと思いますので。

○志満局長

ですから、今回、新しくSAGAアリーナがオープンするけれども、既存の駐車場はないよというのを逆にそういうPRを県のほうもされています。となると、もう公共交通機関で行くしかないよねと。バスセンターというか、JR佐賀駅からだと歩いても行けない距離でもないし、県自体が「歩こう。佐賀県。」と、歩くこともかなり推奨されていますので、うちとしてはバス停まで歩いてくださいと、バス停から乗ってくださいというのを本当は推奨したいんですけども、そういうのを全部かませながら、さっきおっしゃったように、このチケットがより効果的に皆さんが利用しやすいような形にしていきたいと考えています。

○江口委員

もう一つ、バスが北へ向いて行きますね、Uターンするときは文化会館でおっしゃいましたね。いわゆる右折レーンで、かなり渋滞ということはいかがでしょうか。

○小林副局長

県の担当課と協議しまして、ゼブラといって停止禁止の区画というか、標示していただくということで、スムーズに右折レーンに行けるようにするような形で進めております。

○稲葉委員

車両の取得について伺いたいんですけれども、去年の当初予算のときに中型のノンステップバスと普通のノンステップバスではあまり金額自体は変わらないというような御答弁があったと思うんですね。そのため中型のノンステップバスの購入よりも、普通のノンステップバスの購入に今回は予算を振り当てたというような記憶があるんですけど、今回中型が3台という取得に至った経緯というのは、どういったものでしょうか。

○総務課職員

委員のおっしゃっている中型と小型が変わらないというような答弁だったかと思いますが、今回の中型をなぜ購入しているのかというのが、県としては小型の導入を進めておりますが、うちは通勤、通学のラッシュ時間とかは利用者が多いということで、県の補助金を活用するための分で、理由書を提出して中型を購入しているところです。

○御厨委員

基本中の基本のところなんですけど、12番資料3ページに、ガソリン、軽油、油脂とかいろいろ載っていますけど、アドブルーはどこに載っていますか。

○総務課職員

4の油脂費というところがアドブルーです。

○御厨委員

油脂費は全て100アドブルー代ということで理解していいですか。

○総務課職員

その他オイルも含んでおります。

○御厨委員

もし内訳が分かったら知りたいんですけど。

○総務課職員

今、手持ちでは分かりかねますので、資料請求ということでよろしいですか。

○実松委員長

資料請求ということで、皆さんよろしいですか。

(発言する者あり)

事務局のほうに送ってもらって、事務局のほうから皆さんによろしく願います。

ほかに御質疑ございませんか。

○中島委員

アリーナのオープンと同時に、週末を中心に便も増便されるということで、乗務員の方の健康管理という部分ではどうなのでしょう。時間外が増えるとか、そういったことはあるのでしょうか。

○小林副局長

1日20便程度を予定しておりますが、一応3人体制で、1人当たり5時間未満の乗務になるように配置しているところです。

○中島委員

乗務員の負担になるとか睡眠が減るとか、そういったことはないのでしょうか。

○志満局長

うちは乗務員の拘束時間というか、勤務労働時間については、例えば月に36時間以内であるとか45時間以内である。バレーンの時期なんかはちょっと時間外が出ますので60時間以内ということで、勤務労働条件については月ごとに36協定を締結しております。36協定内をもちろん遵守しながら、その範囲内でうちの予備要員を充てますので、過重労働とか時間外の予定以上の負荷というのはいないようにしています。

○実松委員長

ほかに御質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

御質疑もないようですので、交通局の職員は退室いただいて結構です。

◎執行部退室

○実松委員長

付託議案の審査について現地視察の御希望はございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

御希望はないということですので、次回の委員会の日程についてですが、3月15日水曜日、午前10時から議案審査を行います。

以上で本日の経済産業委員会を終了します。お疲れさまでした。

令和 年 月 日

経済産業委員長 実 松 尊 信